

通学路における危険箇所現地確認後の改善について

令和8年7月1日

	校区	場 所	現状と対応策案など	対応機関	改善箇所
1	小宿小	見取橋バス停付近	見取橋バス停付近である。近辺の児童が登下校中に使用するバス停であるが、横断歩道がなく、現在は道路を横切って横断している状況である。 この道路の近くには県道79号線が通っているが、抜け道としてこの道路を使用する運転手も多々おり、交通量は少ない。また、大型のバスも通っている道路である。 <u>保護者や地域住民からもバス停近くに横断歩道を設置してほしいと要望があがってきている。</u>	学校	・横断歩道の前後30mは、法定の駐停車禁止場所になっていること、バス停から30m離れた場所がちょうどカーブになっていることから横断歩道の設置は難しい。そのため、児童に対し、横断前後に周囲の安全を十分確認し、安全を確かめてから横断するよう継続的に安全指導 ・保護者や地域と連携し、登下校時の見守り活動を検討
2	名瀬中	名瀬中学校近く（交差点）	道路幅が狭く、歩道が未整備の状態である。カーブや見通しの悪い区間があり、車両がすれ違う際に歩行者が路肩に避けられない。信号付近は特にスピードを出す車両が多く、危険である。 <u>要望として、ガードレールの設置、または「通学路注意」の看板追加をお願いしたい。</u>	奄美警察署 大島支庁建設部建設課	・交通安全教室（小・中・高等学校）での注意喚起 ・ラバーボールの設置を検討
3	大川小中	前勝集落近く（Ｔ字路）	大川小中学校から小湊方面へ向かい、前勝集落を通り過ぎて100mほどのＴ字路。小湊から自転車通学する生徒が登下校する。学校より小湊に向かって左側に歩道があるが、この付近で歩道が切れているため通行に注意が必要である。 名瀬勝から小湊に向かって左折する車は、小湊から直進してくる歩行者や自転車等に気づきにくく、非常に危険である。一時停止の標識もなく、道路に書かれている「止まれ」の文字が消えかかっているため、一旦停止をせずに右折する車がいる危険。見通しが悪く、歩道も途切れている上に、スピードを出して通行する車両が多く危険である	奄美警察署 大島支庁建設部建設課 農林水産課	・標識の設置、停止線の新設を検討 ・県道沿いの草刈り ・「止まれ」表示の再塗装を検討
3	住用中	住用小中前国道	「住用小中前国道」直線で速度を出している自動車が見られる。また、時間帯によっては太陽の光がまぶしく信号が見えづらいため歩行者の横断に危険が及ぶ恐れがある。	奄美警察署	・通学時間帯における警戒活動及び交通指導取締りの強化 ・遮光版の設置を検討

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立小宿小学校
点検日	令和8年4月 20 日(月)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員: 谷川、西、佐々木、栗林、山ヶ城、松崎 PTA: なし 地域の方等: なし
危険箇所 (点検時に撮影した写真 を添付する)	
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) <u>※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。</u>	<横断歩道の設置要望> 見取橋バス停付近である。近辺の児童が登下校中に使用するバス停であるが、横断歩道がなく、現在は道路を横切って横断している状況である。 この道路の近くには県道 79 号線が通っているが、抜け道としてこの道路を使用する運転手も多々おり、交通量は少なくない。また、大型のバスも通っている道路である。 保護者や地域住民からもバス停近くに横断歩道を設置してほしいと要望があがってきている。

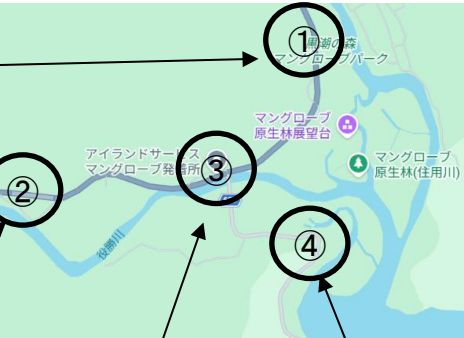
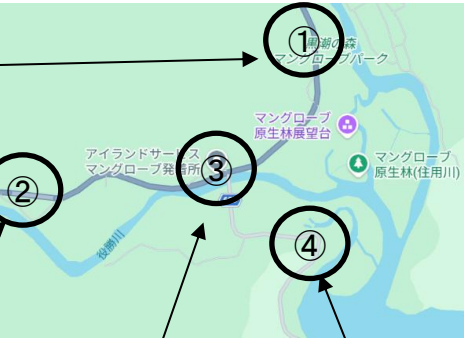
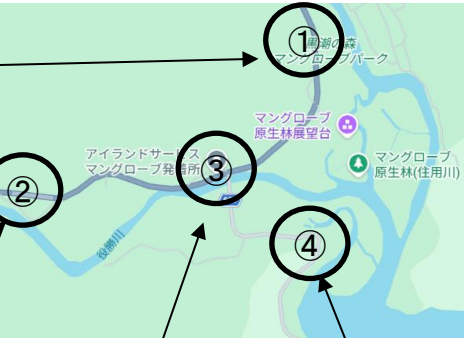
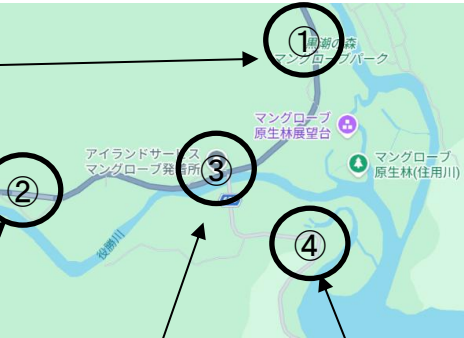
通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立名瀬中学校
点検日	令和8年4月17日(金)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員:校長 教頭 生徒指導主任 安全指導係 PTA:保護者2名 地域の方等:奄美・四谷校区地域みまもり隊2名
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	   ○ 名瀬中側にある薬局の近くにある工事現場 ○ 名瀬中側にある薬局の前にある交差点
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。	○ 工事現場にある道路幅が狭く、登下校時間帯に自転車と接触し、生徒が巻き込まれる可能性がある。 ○ 道路幅が狭く、歩道が未整備の状態である。カーブや見通しの悪い区間があり、車両がすれ違う際に歩行者が路肩に避けられない。信号付近は特にスピードを出す車両が多く、危険である。要望として、ガードレールの設置、または「通学路注意」の看板追加を請求する。

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立大川小中学校
点検日	令和8年4月21日(火)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員：岩田 尚 樹 PTA：圓 直之 地域の方等：
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものもあります。	大川小中学校から小湊方面へ向かい、前勝集落を通り過ぎて100mほどのT字路。小湊から自転車通学する生徒が登下校する。学校より小湊に向かって左側に歩道があるが、この付近で歩道が切れているため通行に注意が必要である。 名瀬勝から小湊に向かって左折する車は、<u>小湊から直進してくる歩行者や自転車等に気づきにくく、非常に危険である。一時停止の標識もなく、道路に書かれている「止まれ」の文字が消えかかっているので、一旦停止をせずに右折する車がいる危険。</u> 見通しが悪く、歩道も途切れている上に、スピードを出して通行する車両が多く危険である。

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立住用中学校
点検日	令和8年4月 24 日(金)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員： 時田 三紀 PTA： 松山 奈津美(PTA 会長) 地域の方等： 澤 修平(山間区長)、森田 博秀(役勝区長)
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	①「西仲間司書前横断歩道」  ②「役勝国道」  ③「住用小中前国道」  ④「鴨曲がり付近歩道」 
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。	① 「西仲間支所前横断歩道」バスが停車中に後方からの自動車が追い越しをかけ横断者が危険を感じる場面がある。 ② 「役勝国道」横断歩道が付近になく、道路の横断に大きく回り道をする必要がある。横断箇所でない場所での横断を誘発する懸念がある。 ③ 「住用小中前国道」直線で速度を出している自動車が見られる。また、時間帯によっては太陽の光がまぶしく信号が見えづらいため歩行者の横断に危険が及ぶ恐れがある。 ④ 「鴨曲がり付近歩道」には、樹木からの落ち葉や木の実が落ちていて、雨の日などは滑りやすくなっており、通りにくそうである。歩道にはポールが設置されているが、生徒が落ち葉や木の実を避けるように通行した場合、見通しの悪さから車との接触事故が発生する危険性は高い。歩道にかかる樹木の剪定を希望する。